

第 6 回 楽家・らくや運営推進会議報告書

事業所名	小規模多機能型居宅介護 グループホーム	楽家 らくや
事業所種別	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護

- 1、開催日 令和 7 年 2 月 19 日（水）
- 2、開催時間 午後 13 時 30 分 ～ 14 時 40 分
- 3、開催場所 らくやコミュニティホール
- 4、出席者

上野地区民生委員	1人	包括支援センター	1人
森田地区代表	4人	理事長	1人
管理者	1人	介護支援専門員	1人

5、理事長挨拶

本日は、道足の悪い所ご参加頂きありがとうございます。
皆様には、日頃から貴重なご意見を頂き感謝しています。
本日も宜しくお願い致します。

6、サービス提供報告（別紙参照）

★小規模、グループホームの利用状況の報告行う。

小規模多機能

- ・ 12月 2 名の方が入所、1 名の方が利用を中止され、1 月は△3 名となっています。

グループホーム

- ・ 12月 入院が長期になる為退所、1月 特養入所の為退所され △2名となっています。
2月には2名の方が入って来られ、定員の9名となっています。

★ヒヤリハット、事故報告の内容報告

十分に注意を払っていても、事故は起きることがあります。
その都度、原因・対策を話し合っており、大きな事故につながらないように努力しています。

7、活動報告（別紙参照）

- ・活動状況の写真回覧。
- ・小規模、グループホームの各活動の紹介。

《小規模》

- ・クリスマス会 ・年賀式 ・避難訓練 ・日々の活動 他

《グループホーム》

- ・クリスマス会 ・年賀式 ・書初め ・避難訓練 ・日々の活動 他

☆職員は、常に利用者の方に楽しんで頂こうと色々工夫しています。

クリスマス会では、恒例のサンタとトナカイの登場と演技に、お腹を抱えて笑っておられました。又、プレゼントをもらい「何が入っているのかな…」とワクワクしていました。

毎年、知り合いの高齢者の方に手作りの袋を頂き、その中にプレゼントを入れています。感謝に絶えないです。

お正月には、恒例のお屠蘇を頂き、福笑い・書初め・おみくじ等、お正月ならではの行事を満喫されていました。

小さい事業者ですが、どれも楽しんで頂けていると思っています。

8、地域交流報告

- ・感染予防の為、行事等の参加はできませんでした。

☆今回は、外出などからコロナがうつってしまい、感染が広まらないよう、予防着を居室に入るたび脱ぎ着したり、食器を使い捨てにしたり、本当に大変でした。

外出すると、若い人と接し、若い人は抵抗があるので感染しないが、高齢者は簡単にうつってしまいます。

それ以上感染者を増やさないようにと、職員はよくやってくれました。

<その他地域の活動について>

- ・いつもなら、ビンゴなどをしていましたが、予算の関係でできませんでした。

今回はお好み焼をして、みんなで楽しみました。

参加している人は、20年、21年生まれの方が多いです。

<森田地区代表>

- ・皆さん、毎日をどのように過ごしているのかなと思うことがあります。

コミュニケーションをとっていることが大切だと言われています。

小規模などに通える人は幸せだと思います。

<管理者>

- ・上森田は80歳過ぎの人ばかりです。

今回は、会場は雪が凄くてダメでした。中止の連絡に、「寂しい、行けるのに～」と寂しがっておられました。

家に誰もいないので送ってもらえず、天気が悪いとなかなか来れないのが残念です

<森田地区代表>

- ・若い人は、なかなか地域のかかわりに参加してもらえないようになっているのを感じます。

<森田地区代表>

9、外部評価について

小規模、グループホーム共に、総括表の報告を行う。

小規模の方は、運営推進委員の方から頂いたご意見でまとめさせて頂きました。

感謝しています。

たくさんの意見を頂き、次に進んでいくステップとなり感謝しています。

グループホームは、先に評価を送っており、2名の方が、評価と実際はどうかを確認に来られ、ヒヤリングを行いました。

その中で、運営推進会議を活かした取り組み・重度化や終末期に向けた方針と共有について調査員の方から課題をもらい、目標・目標達成に向けた取り組み内容を決めました。

小規模、グループホームでは、外部評価の仕方が違いますが、どちらも時間をかけて行っており、サービスの質の確保と向上に努めています。

10、避難訓練実施結果報告

1/31（金）小規模は13時半～ グループホームは14時～ 実施しました。

毎回、消防署の方に来て頂き訓練をしていたが、今回は事業所内で行いました。

<反省と感想>

- ・通報時「訓練」と告げるのを忘れた。初めて通報係をした職員だったのに、説明してなかった。
- ・初めてなので、消防署からの質問に戸惑った。
- ・消防署の方が来られていた時は自信をもってできていたことが、不安があった。

《地域の方の経験談》

- ・救急車を呼んで下さいと頼まれたが、ドキドキしてしまった。
- ・救急車を呼んで下さいと言われ、呼んだが、回りの方が「私も呼んだんだけど～」と言われ、心臓がバクバクしてしまった。
- ・実際に、救急車を呼ばなくてはならない時があったが、携帯を持っているのに頭がパニックになり、どうしていいか分からず呼ぶことができなかった。
- ・電話しても、動揺して何を言っているのか分からず、「早く来て下さい」しか言えなかった。
- ・対象者が身内だと動転してしまって、全く何をしたいのかわからなかった。
- ・民生委員でお弁当を配りに行ったら倒れているのを見つけた。
勝手に入ってはいけないと言われており、包括に連絡をして一緒に入った。
救急車を呼んでも、管轄で行く病院は決まっている。
病院を指定しても、診察券があればいいけど、なければダメですと言われる場合があると聞いたことがある。

11、令和7年度 運営推進会議の日程について

< 現行通り > 偶数月 第3水曜日 13時半～

第1回	4月16日
第2回	6月18日
第3回	8月20日
第4回	10月15日
第5回	12月17日
第6回	2月18日

この日程で了解を得る。

12、その他

< 包括支援センターより >

公開講座のお知らせ

- ★能登半島地震への対応と災害に備えた健康厨づくり
災害が多くなっており、災害知識は広まっています
- ★福井県認知症予防フォーラム
- ★つぐみをとおして病気になってからの人生会議の意義を考える

是非、参加してみてください。

※別紙参照

13、まとめ

本日で今年度は終わりとなります。

多くの方に参加して頂き、たくさんのご意見を頂いたことを感謝いたします。

これからもよろしくお願い致します。

14時40分散会